平成28年12月 1日
第 115 号

やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表 黒瀬和美
電話 972・5819

平成28年度前期分の活動参加者延べ302人





←多くの人が参加した5月の水路清掃
↑6月に行った上郷小学校の学習

平成28年度前期の共同活動日当の支払額が決まりました。延べ人数３０２人の活動に対して総額３６３，０００円の日当を支払いました。

毎年のことながら年度の前半では共同作業が多く行われます。水路の清掃などは距離も長く、多くの人手が必要となります。また上郷小学校の児童の学習にも協力しています。これらの事業の合計は15事業となっています。

日当額については重労働のものの、長時間にわたるものについては２０００円、その他のものについては１時間５００円を基準としています。排水路の泥上げ作業は非常に厳しいので、しかも時間的に3時間以上になることが多いため、こうした措置としています。

排水側あぜ部の改良へ

後期の大きな事業では毎年実施してきた「施設長寿命化」があります。この事業には様々な制約があり、既存の施設の改良に限定されます。設備の新設は対象になりません。

数年間、配水路の改修を続けてきましたが、一定の成果を見たことから、本年より排水側の水路あぜ部の改良に取り組むこととなりました。

既設の施設は水路の両側にブロックが置かれていますが、ブロックを接続す目地の破損、度重なる泥上げによるあぜ部の弱体化などが問題となっています。

従来から議論にはなっていますが、どうした工法が効果的なのか、不確定なままで、結論が出ていません。

そこで今年度より試験的に改良を進めてみて、その中で修正を行いながら改良の方法を見出していくこととしました。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

不思議なリサイクル

田んぼの栄養補給として、鉄分を中心としたミネラル粒剤の散布が行われました。このミネラル粒剤は製鉄工場の燃えカスも含まれているとのことです。

この製鉄の現場に稲の籾殻「すくも」が使われていることをご存知でしょうか。それを長いこと供給元として活躍していた業者と話す機会があって、分かったことです。

高温の溶けた鉄は、上手に冷ましていく必要があります。高級な鉄ほど、その温度管理が重要になるのです。そこですくもが温度管理のための補助燃料として使われているのです。プラスチック廃材なども利用されるそうですが、微妙な温度管理にはすくもが最高だそうです。すくものもえかすの一部も田んぼに戻っているかもしれません。



大型トラクターで散布

環境保全が地域の活性化に

「農村環境の未来を考える研修会」は今年で第9回目を迎えました。毎回多彩な講師が招かれ、興味深い話を披露してくれます。特に事例の発表は、驚かされることが多く、参考になることが少なくありません。

数年前から芝桜を棚田のあぜ部に植えつけて、除草作業の低減を図っていく周南市大道理地区の向道環境保全会の事例は、環境保全から地域づくりへと発展した極めてまれな事例です。

大道理の芝桜は、ご存知の方も多いでしょう。春の1ヶ月の間に5万人が訪れるという名所になっています。その発端は除草作業の低減がスタートになったのです。芝桜を植えるにあたっては、周南市の専門学校のアドバイスを得ながら実施したために、大道理と学校に大きなつながりができました。

最初は胡散臭そうに眺めていた地区の人たちも、何万人もの来訪者を見てスイッチが切り替わったのです。おもてなしをしよう、何かを作ってお土産にしよう、もっと良い環境にしよう、好循環がどんどん加速したのです。春の芝桜に加えて、夏のホタル祭りも盛大になりました。

とうとう専門学校の漫画家の先生がここに移住してくることになって、塾生が一緒に大道理で仕事をすることになったのです。除草作業を何とかしたいという思いから、地域が活性化、若い人がやってくる特別な地域に変わっていったのです。

高齢者の多い地区で、しかも買い物にはかなり遠くまで行く必要があります。そこで地域の人々が相乗りの自動車で用事を済ますことのできる生活交通「もやい便」も運用しています。

農村は魅力に溢れているが、その情報発信が苦手といわれます。日々の作業に追われてそんなところまで手が回らないというのが正直なところでしょう。ここでは、小さなところまで気を配っています。「百笑倶楽部」は地域の中心組織で、芝桜に携わる人は「花咲爺」、ふるさとを再生ではなく「彩生」、移住希望者の案内所として「夢有民の家」と書いて「ムーミンの家」と呼んでいました。

環境保全は地域づくりの基本になるというお手本でしょう。



研修が終わった後の記念撮影、表彰者や登壇者が一堂に


すっかり有名になった大道理の芝桜

今年もやります
餅つき、ぺったん



餅つき大会にいらっしゃい

今年も「餅つき体験大会」を行います。伝統的な足踏み敷き持ちつき「だいがら」と杵で。地元産の餅ごめで餅つきをします。

当日の試食もありますし、お土産の餅もあります。地元の方だけではなくお知り合いやお友達の参加も歓迎です。もちろん参加費は不要です。

【日時】12月18日（日）
午前9時より
【会場】八方原ふれあい朝市広場

現代の名工に高山社長
厚生労働省の平成28年度「卓越した技能者」の表彰者に㈱高山造庭園の代表、高山昭俊氏が選ばれました。
おめでとうございます。